

“しおまねき”をとあして 吉野川干潟のファンになろう!!



おおきな町のすぐ近くにある、大きな川の河口に干潟とヨシ原がこんなに豊かなところは、今やここ吉野川をおいてほかにはありません。シオマネキ、ハクセンシオマネキ、トビハゼ、ヒロクチカノコ、クシテガニ、日本の干潟からどんどん姿を消していく生きものたちに、今はまだあたりまえに出会える吉野川。この特権を活かして、干潟探検にでかけましょう。



■日 時 7月19日(日)
13:30~15:30
受付 13:00~



ハクセンシオマネキ



シオマネキ

シオマネキとハクセンシオマネキは、環境省のレッドリストで、絶滅危惧Ⅱ類となっています



- 集合場所 : 吉野川南堤グランド東詰 (徳島市住吉4丁目)
★事前申込が必要です。 小雨決行・雨天延期
- 参加費 : こども無料 おとな200円(資料代) 定員80名
(中学生以下は保護者同伴)
- 準備物 : 長靴 もしくは 指の出ない靴(必ず靴下をはくこと・サンダルは不可)
帽子、飲み物、よごれてもいい服装、タオル等 小さい子は着替えが必要
手洗い用の水(500ml ペットボトル位) があるといいよ!

FAX・E-mail・はがきでお申し込みください。先着順、定員になり次第締め切ります。

★申し込み先 : とくしま自然観察の会

★FAX 088-623-6783

★E-mail : madoguchi@shiomaneki.net

★はがき : 〒770-0944 徳島市南昭和町3-19-1

★申し込み事項 : 参加者全員のお名前・全員年齢・ご住所・携帯電話等ご連絡可能な電話番号

専門家 : 和田太一さん (大阪在住のひがたの達人)

大阪湾周辺の干潟の調査や自然観察会を実施しながら、西日本や沖縄の様々な干潟の調査をし、地元市民らの干潟の保全活動を応援しています。

シオマネキは、汽水域のシンボルであり、干潟にヨシ原が残り、自然度が高い河口域に見られることから、干潟や河口の自然が良好な状態で保たれているかどうかの環境指標動物になると言われています。わが国では、その生息分布は限られていますが、吉野川河口のように、生息数が際だって多いところは他にはあまりありません。

■実施団体:とくしま自然観察の会

■協働団体:NPO 法人市民未来共社

認定特定非営利活動法人日本 NPO センター

■協賛:(株)損保ジャパン日本興亜

■後援:徳島市教育委員会